

(2) 事業活動収支計算書（法人全体）の概要

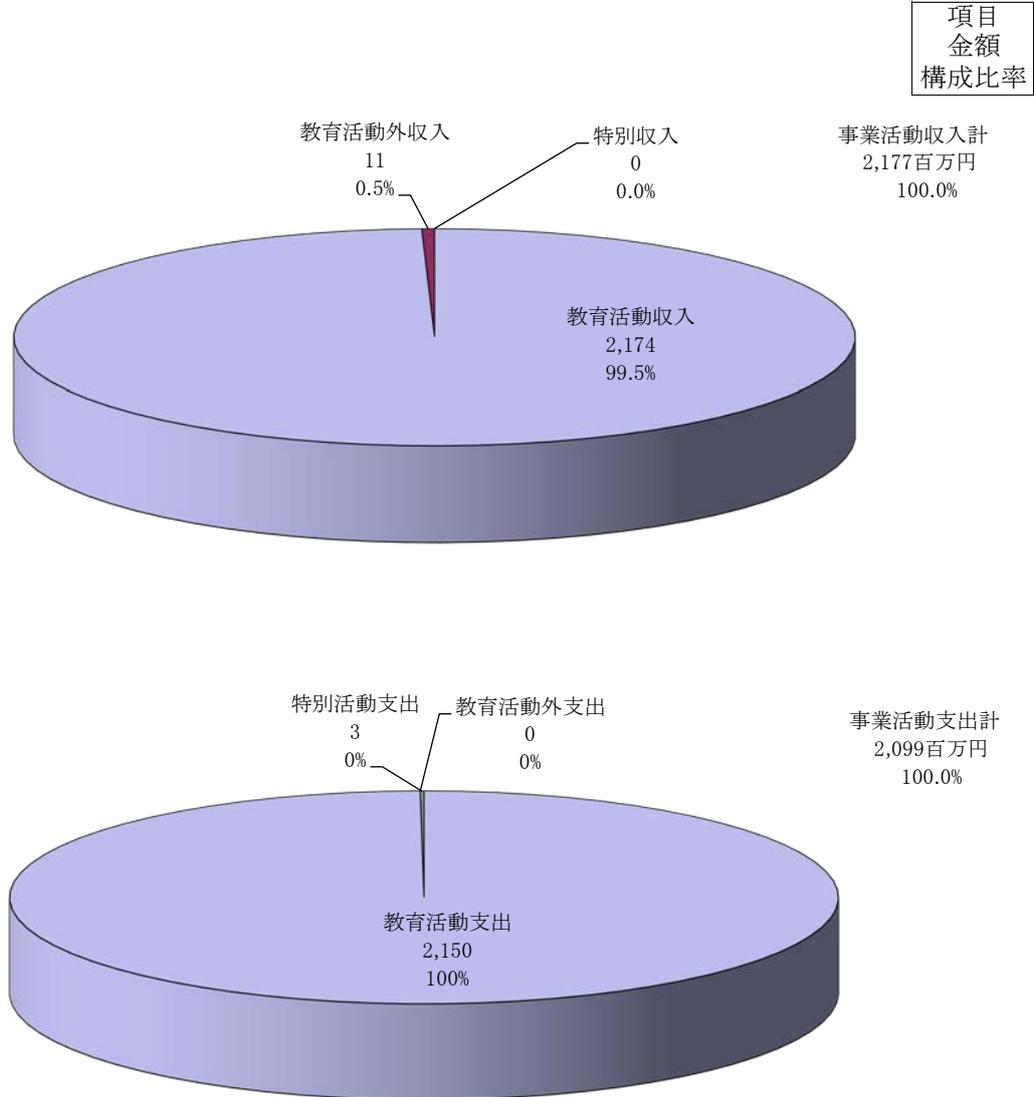
事業活動収支計算書は、当該会計年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の活動収入及び活動支出の内容及び均衡の状態を明らかにするためのものであり、次のグラフは、事業活動別にグラフにしたものである。

当年度決算の結果、教育活動収支については、収入は2,174百万円、支出は2,150百万円となり教育活動収支差額は、24百万円の収入超過となり、教育活動外収支については、収入は11百万円、支出は0円となり教育外活動収支差額は、11百万円の収入超過、特別収支については、収入は0円、支出は3百万円となり特別収支差額は、7百万円の収入超過となった。

結果、基本金組入前当年度収支差額は31百万円となり、基本金組入額合計△105百万円を加えた、当年度支差額は、△74百万円となった。

前年度収支差額3,263百万円を加え、基本金取崩額5百万円を加えた翌年度繰越収支差額は、3,194百万円となった。

(単位：百万円)



<用語の説明>

- 教育活動収支 … (収入) 当該年度のすべての収入のうち、教育活動収入
(支出) 当該年度のすべての支出のうち、教育活動支出
- 教育活動外収支 … (収入) 受取利息・配当金、その他教育活動外の収入
(支出) 借入金利息、その他教育活動外の支出
- 特別収支 … (収入) 資産売却収入、その他の特別収入(施設設備寄付金・施設設備補助金)
(支出) 資産処分差額、その他の特別支出
- 基本金組入額合計 … 教育活動に必要な資産を継続的に保持するため維持するべきものとして、土地、建物、機器備品等の資産を自己資金で取得した額で、帰属収入から組入れた金額(取得額と同額)